

高 PER の輸出比率の高い組立加工業について ネガティブ

コロナウイルスの影響で、中国に加えて欧米間での人的交流も遮断されつつある。この影響は輸出比率の高い企業に大きなダメージを与える。特に、受注産業は3月期決算の期末売上の未達成に加え、足元の受注も大きく毀損する状況にある。3月期銘柄の業績は海外子会社分の連結寄与は12月までであり、コロナ影響は2021年3月期上期決算に大きく影響する。貿易統計で見ると、2019年は総額77兆円の輸出があるが、構成比の高いのが一般機械、電気機器、輸送用機器で、輸送用機器が最も高い。現在、欧州が遮断状況にあるが、EU向け輸出は約9兆円、品目別では自動車17.7%、自動車部品5.9%、原動機4.3%、電気計測3.3%、建機2.7%などが高い寄与度となっている。

このため、現状、今期予想で高いPER銘柄で輸出比率の高い会社東証1、2部の会社を列挙してみ

貿易統計 (EU向け2019年輸出)			(百万円、%)	
品名	価額	構成比	伸率	増減寄与度
総額	8,955,277	100	-2.8	-2.8
1 食料品	36,902	0.4	9.6	0
2 原料品	86,365	1	-5.2	-0.1
3 鉱物性燃料	57,790	0.6	32.8	0.2
4 化学製品	850,567	9.5	-1.4	-0.1
有機化合物	264,538	3	2.7	0.1
医薬品	112,096	1.3	-23.8	-0.4
プラスチック	174,424	1.9	-7.3	-0.1
5 原料別製品	542,695	6.1	-9.1	-0.6
鉄鋼	68,388	0.8	-5.3	0
非鉄金属	66,092	0.7	-20	-0.2
金属製品	130,779	1.5	-4.4	-0.1
織物用糸・繊維製品	65,296	0.7	-3	0
非金属鉱物製品	96,589	1.1	-9.6	-0.1
ゴム製品	98,184	1.1	-13.9	-0.2
紙類・紙製品	16,854	0.2	0.4	0
6 一般機械	2,019,047	22.5	-8.8	-2.1
原動機	382,545	4.3	-6.9	-0.3
電算機類 (含周辺機器)	128,472	1.4	-3.5	-0.1
電算機類の部分品	203,243	2.3	-13.7	-0.3
半導体等製造装置	60,751	0.7	-27.7	-0.3
金属加工機械	167,397	1.9	-7.5	-0.1
ポンプ・遠心分離機	199,739	2.2	-8.6	-0.2
建設用・鉱山用機械	242,658	2.7	-2.3	-0.1
荷役機械	74,082	0.8	-12.4	-0.1
加熱用・冷却用機器	68,906	0.8	-1.6	0
繊維機械	10,526	0.1	-20.2	0
ヘアリング	79,022	0.9	-7.1	-0.1
7 電気機器	1,499,938	16.7	-7.2	-1.3
半導体等電子部品	173,603	1.9	-12.4	-0.3
(IC)	78,938	0.9	-21.2	-0.2
音響・映像機器	77,157	0.9	-16.9	-0.2
(映像記録・再生機器)	54,253	0.6	-15.4	-0.1
(テレビ受像機)	19,138	0.2	-19.3	0
音響・映像機器の部分品	15,894	0.2	0.2	0
重電機器	149,711	1.7	3.8	0.1
通信機	80,812	0.9	-9.8	-0.1
電気計測機器	294,442	3.3	1.2	0
電気回路等の機器	139,982	1.6	-14.8	-0.3
電池	111,281	1.2	-10.9	-0.1
8 輸送用機器	2,450,699	27.4	2.8	0.7
自動車	1,588,887	17.7	15.3	2.3
(乗用車)	1,548,179	17.3	16.7	2.4
(バス・トラック)	40,699	0.5	-19.7	-0.1
自動車の部分品	531,024	5.9	-0.5	0
二輪自動車	124,120	1.4	-18.4	-0.3
航空機類	16,318	0.2	6.3	0
船舶	66,783	0.7	-47.8	-0.7
9 その他	1,411,274	15.8	3.2	0.5
科学光学機器	279,748	3.1	-3.2	-0.1
写真用・映画用材料	75,419	0.8	-5.7	0

た。来期収益予想は最新の四季報によるが、この数字は多く減額されると見られる。このため、過去10年の安値に対してまだ水準的には高いとみられ、ネガティブとする。

コード	企業名	市場	決算期	EPS今期予	PER	EPS来期 四季報予	PER	株価	高値	日時	安値	日時	年	安値	輸出比率
7999	MUTOH	東1	3月	1.1	2036	11.0	122	1344	1968	2019/1/15	1119	2020/3/13	2011年	1200	66%
6967	新光電気工業	東1	3月	2.2	340	25.9	29	755	1399	2020/2/13	624	2019/1/4	2012年	500	81%
6135	牧野フライス製作所	東1	3月	8.2	308	12.0	210	2524	5590	2019/11/8	2453	2020/3/19	2013年	1970	75%
7239	タチエス	東1	3月	赤字	-	31.9	27	869	1764	2019/4/19	800	2020/3/17	2010年	800	55%
6363	西島製作所	東1	3月	3.7	211	37.0	21	779	1100	2019/6/21	575	2020/3/13	2012年	500	49%
6472	NTN	東1	3月	赤字	-	7.5	24	180	385	2019/4/22	167	2020/3/17	2012年	131	72%
6303	ササクラ	東2	3月	16.3	129	26.1	80	2098	2600	2019/2/7	1917	2020/3/13	2012年	1600	62%
6262	ベガサスミシン	東1	3月	0-	-	20.2	14	286	765	2019/1/28	270	2020/3/13	2013年	190	92%
6962	大真空	東1	3月	12.4	107	53.3	25	1332	2158	2020/1/23	807	2019/1/4	2019年	807	82%
6240	ヤマシンフィルタ	東1	3月	6.6	104	9.4	73	690	1044	2019/11/8	497	2019/5/21	2016年	359	53%

なお、工作機械については3/24に2月受注の確報値が15時に発表となるが、同時に販売額の数字が初めて開示される。この数字はコロナの影響を多少受けていると見られるが、3月分は検収が不能となり、大きく落ち込むとみられる。受注も厳しい状況で、来上期決算は軒並み赤字転落が見込まれる。株価について、10年来の安値に届いた会社もあるが、通期赤字に陥る企業はネガティブとしたい。